

# 宮川の風 第53号

平成30年7月6日（金）発行

宮川小学校校長室からのたより

2003年（平成15年）に内之浦宇宙観測所から打ち上げられ、2010年（平成22年）6月13日に任務を全うした小惑星探査機初代「はやぶさ」。エンジン故障や通信が途絶えるトラブルに遭遇しながらも見事役目を果たし、最後は美しく燃え尽きた姿は、今も感動のワンシーンとして残っています。その2号機が小惑星「りゅうぐう」にたどり着いたというニュースに驚きました。なんと3億<sup>km</sup>離れた場所で、今後さまざまな観測を行うそうです。想像もできない遠い場所への旅ですが、元内之浦宇宙観測所長の川泰宣さんは「ブラジルの空を飛んでいる虫に日本から矢を当てるようなもの。」と、その困難さを表現しています。今回も見事にミッションを成功させ、2020年末に予定どおり地球に帰還することを願いましょう。

裏面の話の最後の三行にご注目ください。

「精神力の差」とは、いろんな場面で耳にする言葉です。最後まで自分の力を信じて、諦めずに頑張り続ける力です。目には見えない「気力」が、ファインプレーや起死回生の一手になり得ることがあるのだと思います。逆に、早々に諦めてしまうと、本来持っている力さえも発揮しないまま終わってしまうこともあるのだと思います。子どもに限らず私たち大人も、早い時点で諦めることが多いように思います。

では、精神力はどのようにして高めていけばいいのでしょうか。私はこう思います。日常生活のやるべきことをきちんとやり、自分の責任を果たす習慣づけが最も大切だと。それが責任感の強さとなり、最後までやり通す気力につながるのだと思います。

基本的な生活習慣はどうでしょうか？宿題や忘れ物などはどうでしょうか？細かい一つ一つを大切にしていきましょう。

3日（火）の朝は、台風7号の影響があり、児童の安全面から午前10時までの登校としました。朝6時過ぎから近隣の中学校区と連絡を取り合いながら、児童の安全を最優先しました。雨や風が弱くなったように感じても、急な突風や横殴りの雨もあり、登校を遅らせるべきと判断しました。

今後も台風や大雨がやってくるのが予想されます。情報を把握しながら安全面に配慮した判断に心がけたいと考えます。

御理解と御協力をお願いします。

鹿児島市教職員バレーボール大会が行われました。本校は、女性パートと男性・混成Bパートに出場しました。結果は、2チームとも1勝1敗で決勝トーナメントには進めませんでした。両チームとも接戦の末に敗れたこともあり、非常に惜しい結果でした。しかし、互いに応援に駆けつけるなどチームワークはどのチームにも負けない自信がありました。

正直なところ、ケガがなくてよかったです。

## ある日のできごとから



台風が接近してくるといろいろ忙しくなります。登校させるか、自宅待機か、休校かなどの判断と、それに伴う給食の実施の有無の判断をしなければなりません。給食については、材料の仕込みがあるため、早い段階で決定しなければなりません。

次に、校庭の運動施設の安全確保です。今回も、校庭にあるバスケットゴールやブランコ、逆上がり練習台などを、安全な状態にする作業を職員で行いました。プールは、台風通過後に葉っぱなどの撤去が必要になります。

そして、花や野菜の鉢の片付けもあります。これは、高学年の子どもたちの活躍の場となります。一人一鉢や教材用の鉢、校門などに飾ってある鉢などを全て校舎内に片付けなければなりません。掃除時間を使って、子どもたちが頑張ってくれたお陰で、全ての鉢植えを守ることができました。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）